



昭和19年4月20日 兵庫県立医学専門学校一回生入学記念145名入学



神緑会館(手前平屋建て)と事務棟・附属病院外来棟全景(左奥に旧第一病棟を望む)
平成13年11月



明治2年に開院した神戸病院。手前の建物番屋前の左再山(再度山)道の道標(矢印▲)は現在も残っている。



入口へ見通す神緑会館通路

目次	ページ
平成30年度一般社団法人神緑会定時(社員)	3
総会開催報告	3
開会挨拶	3
審議事項	3
委員会報告等	3
田中賞受賞記念講演	4
特別講演一	6
附属病院長	平田 健一
神戸大学評議員	飯島 一誠
	岩田健太郎
学生よりの提案と挨拶	*塚本 修一
情報交換会	9
神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年 記念事業にご協力をお願い	10
神緑会常務理事	中村 誠
理事	山崎 峰夫
理事	岡村 雅雄

目次	ページ
2018年度大倉山祭開催に向けて	*大野 聖真 15
神緑会男声合唱団へのご参加のお願い	梶本 和義 16 伊藤 俊之
退職のご挨拶	西尾 久英 18
京都大学 iPS 研究所 (CiRA) 便り	20
神戸大学で取り組む認知症予防 “キャンパスシニアジム”	木戸 良明 22 内村 真紀
西日本豪雨	25
兵庫県誕生物語	26
神戸大学ホームカミングデー	28
記念事業：座談会開催状況と投稿のお願い	29
編集後記	

*学生

34階には神戸市街、大阪湾を一望するダイニング、
35階にはスカイラウンジ

34階レストランから望む、神戸港、三宮、
北野～新神戸界隈の街並み、六甲山（南西～北西方向）

今は自由にアクティブに暮らしたいけれど、将来の介護は不安という方へ

介護付有料老人ホーム **サンシティタワー神戸**

入居時自立

所在地：神戸市中央区脇浜海岸通2-3-5



34階レストラン

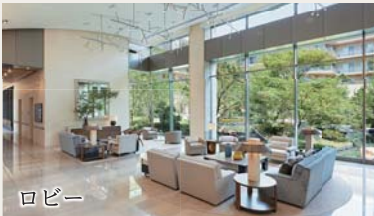


土地建物の権利形態/事業主体非所有



1階中庭

タワーでありながら緑豊かな中庭は1600㎡の癒しの空間。
リゾートホテルのような快適さで、豊かに暮らせる安心の住まい。



ロビー



温水プール

安心の医療支援体制と介護体制

将来介護が必要になっても、要介護者3人に対してケアスタッフ(看護師含む)2人以上という手厚い介護人員体制



建物内には岩永メディカルクリニック



斜向かいには神戸赤十字病院

予約不要のレストラン、大浴場、温水プール、フィットネスルームなど共用部が充実。

要予約

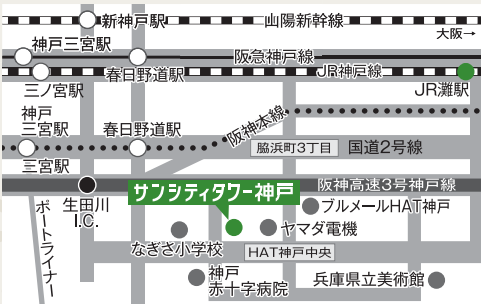
個別見学会開催

資料請求・見学のお申込みはこちらまで

受付時間/午前9:00～午後5:00(土日祝日も受付可)

0120-33-1655

無料シャトルバス
三宮・元町へ
毎日8便運行



【施設概要】●所在地/神戸市中央区脇浜海岸通2丁目3番5号●敷地面積/12,431㎡●建築面積/5,861㎡●延床面積/57,391.40㎡●構造規模/RC造(一部S造)。地上35階●一般居室数/483室(37.30㎡～112.76㎡)、介護居室数/91室(91床、一時介護室/4室(20.8㎡～25.61㎡))●主な共用設備/レストラン、温水プール、男女大浴場、美容室その他●土地・建物の権利形態/事業主体非所有●建物竣工/平成29年4月●開設年月/平成29年6月●事業主体・運営管理/㈱ハーフ・センチュリー・モア●返還金制度/あり【協力医療機関】■住友病院(大阪市北区中之島5-3-20、施設から約33km)●主な診療科目/一般内科、リハビリテーション科、心臓血管外科、神経内科、放射線科ほか●協力内容/生活習慣病予防健診に利用できます■兵庫医科大学病院(兵庫県西宮市武庫川町1-1、施設から約18.5km)●主な診療科目/総合内科、外科、眼科、整形外科、脳神経外科ほか●協力内容/高度医療を必要とする場合の入院、外来、緊急時の対応、人間ドックに利用できます【同一建物内クリニック】■岩永メディカルクリニック(別法人)●主な診療科目/内科、外科、消化器内科、糖尿病内科、リハビリテーション科【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示事項】●類型/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)●居住の権利形態/利用権方式●利用料の支払い方式/全額前払い方式●入居時の要件/入居時自立、満70歳以上の方●介護保険/神戸市(兵庫県)指定介護保険特定施設、神戸市(兵庫県)指定介護予防特定施設●介護居室区分/全個室●介護にかかわる職員体制/1.5:1以上■入居申込書の記載事項に虚偽があったり、月額利用料の支払いを正当な理由なくしばしば遅滞した場合、他のご入居者や従業員に危害を及ぼす等の行為がある場合、その他入居契約書に定めた条項に違反された場合は、相当の催告期間の後に契約を解除させていただきます。■お客様の個人情報は、資料の発送や見学会のご案内のほか、各種の統計調査に利用する場合があります。尚、個人情報はご本人の承諾なしに第三者に提供することはありません。

(株)ハーフ・センチュリー・モアは大手企業約100社が出資する資本金120億円で、借入金のない会社です。

【主な出資企業】三井住友銀行・みずほ銀行・三菱東京UFJ銀行・西日本旅客鉄道・三洋電機(パナソニック)・塩野義製薬・ダイキン工業・ヤンマー・江崎グリコ ほか

平成30年度一般社団法人神緑会定時(社員)総会開催報告

◆ 神緑会総会 開会挨拶

会長 前田 盛



前田会長

本総会を無事開会できるのは、多くの方々の支援の結果であり、皆様に感謝します。

本日提示の決算報告では、当初から「予算どおりの運営」を宣言し、記念事業実施中のため、多くの活動をせばめることが難しい中、研究助成金を削減し、記念事業の募金による肩代わりを目指しました。名簿の発行による追い風があったのですが黒字にはなりませんでしたが。会費収入の増加が充分でなかった点は反省点です。ただ、28年度で基本財産の費消を終え、一般社団法人としての運営となりました。従って支出が事業費と管理費の二本立てから一本化され、わかりやすい決算となりました。昭和世代から平成卒世代への引き継ぎに努めて参りました。

本総会では、プログラムにはさみこんでいる「150周年、75周年の歴史的事実の提示」を皆さんに伝えるメッセージとします。



司会 大林評議員会議長



会長、副会長



山中監事

各支部、クラス代表を通しての手渡しを中心に皆さんに浸透します。記念事業も残り10ヶ月を切っており、この低調を打破したいと思います。ご理解よろしくお願ひします。

◆ 審議事項

- 1) 平成29年度 事業報告について承認されました。
- 2) 平成29年度 決算報告について承認されました。
- 3) 平成29年度 監事監査報告について
- 4) 名誉会員の選出について
異 英二、安藤啓二、中尾実信の三名について承認されました。

◆ 委員会報告等

- 1) 学術委員会報告
- 2) 情報委員会報告
- 3) その他（神戸大学医学部創立75周年 神戸病院創立150周年記念事業寄附について）前田会長が趣旨説明を行った。

平成30年度一般社団法人神緑会 優秀女性研究者賞授与者

氏名・所属	研究業績
杉浦 麗子 (平成4年卒) 近畿大学・薬学部・教授	ゲノム薬理学的手法を用いた MAPK シグナル伝達経路制御機構の解明と創薬への応用



前田会長、杉浦先生

従来、「田中千賀子学術奨励賞」の名称で女性研究者を10回表彰した(財源は旧薬理学同門会提供)。当初から既に教授在職者は選考対象としない方向で選考が行われ、若手研究者を暗黙の了解として選考した。今回、第11回目として分かりやすいルール化を行うべきであったが、成文化前に選考が進み、従来の選考の趣旨から別名目表彰とした。10月ごろまでに従来の表彰制度の延長として成文化を行う(理事会)。

平成30年度一般社団法人神緑会研究助成金授与者

募集対象1：医学に関する交流・教育・研究の助成

番号	氏名・所属	研究課題等	助成金(円)
1	桂田 直子 (平成17年卒) 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座呼吸器内科学分野	メタボロゲノミクスによる肺 MAC 症の発症機構の解明と治療法の開発	300,000
2	宮川 一也 (平成15年卒) 神戸薬科大学 臨床薬学研究室	ミトコンドリアを介した血管内皮エピゲノム制御機構の解明	300,000
3	小林 成美 (平成8年卒) 神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 医学教育学分野 医学教育学部門	神戸大学医学部医学科における Institutional Research システムの構築	500,000



桂田先生代理 永野達也先生



宮川先生



小林先生

地域における疾病並びに医療等に関する研究調査の助成

番号	氏名・所属	研究課題等	助成金(円)
1	勝二 郁夫 (平成2年卒) 神戸大学大学院医学研究科 附属感染症センター 感染制御学分野	インドネシアにおけるロタウイルスの分子疫学解析 2年目	300,000
2	的崎 尚 (昭和56年卒) 神戸大学大学院医学研究科 生化学・分子生物講座 シグナル統合学分野	細胞間シグナル CD47-SIRP α 系を利用した新たながん治療法の開発 2年目	300,000

番号	氏名・所属	研究課題等	助成金(円)
3	青井 貴之 (平成10年卒) 神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科先端医療学分野 神戸大学大学院医学研究科 iPS 細胞応用医学分野 教授	iPS 細胞等を用いる病態解明および治療開発研究の基盤強化 2年目	300,000

募集対象3：小規模な学術講演会等の開催への助成

番号	氏名・所属	研究課題等	助成金(円)
1	香川 哲郎 (平成2年卒) 兵庫県立こども病院 麻酔科	日本小児麻酔学会第24回大会	100,000
2	伊藤 智雄 (特別会員) 神戸大学大学院医学研究科 病理学講座 病理診断学分野	第6回神戸免疫組織診断セミナー (いむーのセミナー)	100,000

◆ 田中賞受賞記念講演

プロフィールと講演要旨



金谷先生

金谷 貴子 (かなたに たかこ)

神戸労災病院整形外科・リハビリテーション科部長

略歴 平成2年神戸大学医学部卒業、神戸大学整形外科医局入局

神戸大学附属病院、神戸労災病院で研修医のあと

平成3年神戸大学医学部大学院入学

平成7年医学博士号取得 (第一生理学教室)

平成8年新須磨病院整形外科

平成10年米国ハーバート大学 Brigham &

Women's hospital; クリニカルフェロー

平成11年新須磨病院整形外科

平成13-15年豪州マイクロサーチファンデーション; リサーチフェロー、手移植の研究

平成15年帰国後、神戸大学病院勤務6か月後、神戸労災病院勤務、現在に至る



司会 谷副会長

演題「手根管症候群に対する電気生理学的重症度分類の役割」

講演要旨: 手根管症候群 (CTS) に対する手根管開放術は gold standard であるが適応基準の統一はない。当院では、母指球筋萎縮例や、保存療法にて痺れ、知覚鈍麻が改善せず ADL に影響を及ぼす症例に推奨するが、最終的な選択は患者に委ねている。今回、電気生理学的重症度分類 (Stage 1-5) を用いて、重症度レベルの手術選択における役割を検討した。対象は臨床上 CTS と診断した1079手で各 Stage での手術選択率を調査した。重症度の分布状態は Stage 1: 50手, 2: 201手, 3: 235手, 4: 364手, 5: 227手となり Stage 4 が最多を占め



た (34%) (分類不能: 2手)。手術選択総数は443手 (41%) で、Stage 1: 5手 (10%), 2: 24手 (12%), 3: 65手 (28%), 4: 188手 (52%), 5: 161手 (71%) と重症度に並行して増加し、Stage 5での手術選択率が有意に高かった (χ^2 検定: $p < 0.0001$)。

CTSの電気生理学的重症度は、臨床的重症度とは必ずしも一致しないとされているが、手術選択率の増加はADL障害度の増大を示唆しており、手術選択の指標になると考えられた。

◆ 特別講演 演題「神戸大学医学部附属病院のミッション」

プロフィール



平田先生

平田 健一 (ひらた けんいち)

神戸大学医学部附属病院 病院長

学歴 昭和59年3月 神戸大学医学部卒業

平成4年3月 神戸大学大学院医学研究科修了

職歴 昭和59年4月 神戸大学医学部附属病院 第一内科入局

昭和60年7月 兵庫県立柏原病院内科 勤務

平成7年12月～13年6月 神戸大学医学部内科学 第一講座 助手

平成8年9月～11年6月 米国 Vanderbilt 大学、Stanford 大学研究員

平成13年7月 神戸大学医学部附属病院 循環呼吸器病態学 講師

平成18年7月 神戸大学大学院医学研究科 循環呼吸器病態学 助教授

平成19年4月 神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学 准教授

平成19年7月 神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学 教授

平成21年4月～23年1月 神戸大学大学院医学研究科 医学研究科長・医学部長補佐

平成23年2月～30年1月 神戸大学医学部附属病院 副病院長

平成30年2月 神戸大学医学部附属病院 病院長

～現在に至る



司会 前田会長

講演要旨: 2008年保健学科の研究科としての独立により、医学系研究科から医学研究科と保健学研究科としてそれぞれ独立した。ただ医学部は、医学科と保健学科が同じ学部を構成している。

病床規模は、九州大学が1300床で神戸大学は934床、92%の病床稼働率は全国1位でした。

17年4月に120床でポートアイランドに ICCRC の病院を発足させ、国際化の推進窓口となった。

臨床研究中核病院の指定、卒後教育についての大学院定員増、専門育成の現状、地域医療活性化センターと兵庫県の地域枠等について説明された。

最後に31年の柏原での新統合病院、34年完成予定の姫路での統合病院について説明された。多くの内容をわかりやすく説明された。



平田先生

◆ 特別講演 演題「小児ネフローゼ症候群の新規治療法開発と病因探索研究」

プロフィール



飯島先生

飯島 一 誠 (いじま かづもと)

神戸大学大学院医学研究科

内科系講座小児科分野 教授

略歴 1982年 神戸大学医学部医学科卒業 神戸大学小児科入局

1989年 アメリカ合衆国ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校

腎臓高血圧内科リサーチフェロー

2002年 国立成育医療センター腎臓科医長

2008年 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども発育学部門特命教授

2011年 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野教授

2013年 神戸大学大学院医学研究科副研究科長・副学部長・医科学専攻長

2016年 神戸大学教育研究評議会評議員



司会 奥町副会長

講演要旨：ネフローゼ症候群は小児の慢性腎疾患で最も頻度の高い指定難病で、我が国では年間約1000人の小児が発症する。大半はステロイド療法によって尿蛋白が消失するが、その半数は頻回再発型/ステロイド依存性ネフローゼ症候群 (FRNS/SDNS) となり種々の免疫抑制薬が用いられステロイドの減量・中止が試みられる。しかし、約20%程度の患者は、免疫抑制薬を用いてもステロイドを中止できない“難治性FRNS/SDNS”となる。我々は、このような患者を対象として、抗CD20モノクローナル抗体であるリツキシマブの有効性・安全性を検証するための医師主導治験を実施し、リツキシマブが有効であり、安全性も許容範囲内であることを明らかにした (Lancet, 2014)。この結果を受けて、2014年8月29日に、世界で初めて我が国で、難治性FRNS/SDNS に対するリツキシマブ適応拡大が承認された。本講演では、その開発経緯や医師主導治験の結果をお示しするとともに、その後の展開についても紹介する。また、病因探索研究として現在実施中の小児ネフローゼ症候群疾患感受性遺伝子同定研究についても紹介された。

◆ 特別講演 演題「感染症専門医の役割」

プロフィール



岩田先生

岩田 健太郎 (いわた けんたろう)

神戸大学大学院医学研究科 微生物感染症学講座 感染治療学分野 教授

略歴 1997年島根医科大学 (現・島根大学) 卒業。沖縄県立中部病院研修医、コロンビア大学セントクルース・ルーズベルト病院内科研修医を経て、アルバートアインシュタイン大学ベスイスラエル・メディカルセンター感染症フェローとなる。2003年に中国へ渡り北京インターナショナル SOS クリニックで勤務。2004年に帰国、亀田総合病院 (千葉県) で



司会 大竹理事

感染内科部長、同総合診療・感染症科部長歴任。2008年より現職。
各種感染症の専門医資格に加え、漢方内科専門医、日本ソムリエ協会認定シニアワインエキスパートなども持つ。
主な著書に、『サルバルサン戦記』、『ワクチンは怖くない』、『医学部に行きたいあなた、医学生のアナタ、そしてその親が読むべき勉強の方法』、近刊に、『HEATAPP! (ヒートアップ!) たった5日で臨床の“質問力”が飛躍的に向上する、すごいレクチャー』『つまづきから学ぶ漢方薬 構造主義と番号順の漢方学習』、翻訳本で『きみの体の中 (INSIDE YOU)』など、著書多数。

講演要旨：私が医師になったとき、日本には感染症医という存在がなかった。感染症は各科の医師が勝手気ままに抗菌薬を出して適当に治せばよい。そのように考えられていたからだ（今もそういう医師は少なくないが）。

若手をリクルートするときは、「今なら日本感染症界で五本の指に入る存在になれるよ」と勧誘したものだ。感染症を生業にしている医師など片手で数えるほどしかいなかったのだ。

10年前に神戸大学病院に赴任したとき、腐心したことがいくつかある。

一点目は「病院長の了解のもと」感染制御部と仲良くやっていくことだ。感染対策／制御と、感染症診断／治療は同義ではない。だが、無関係でもない。例えるならば、野球の守備と攻撃に似ている。優れた人物ならば、あるいは小規模のアマチュアチームであれば「二刀流」という芸当も可能だが、神戸大学病院のような大規模な組織であれば守備の専門家と攻撃の専門家が分業するのが効率的だ。効率的だが、守備と攻撃がバラバラというのは困る。両者には異なる知識や技術があるが、連動した一連の営為であり、患者をよくし、病院をよくし、コミュニティーをよくするというミッションは同じである。同様に、検査部や薬剤部、看護部とも連動し、「同じ方を向いて」仕事をするよう務めた。間違っても、大学病院「あるある」なセクション同士で反目しあい、足を引っ張り合うような幼児退行的な愚考だけは避けたかった。

もう一点腐心したのは、各診療科への営業活動だ。存在しない、存在しなくてもよいと思われていた感染症部門が、縦割り、タコツボな大学病院にできたのだ。横断的に感染症診療に介入するには営業活動が必須であった。「体を売る以外はなんでもやる」精神で泥水を飲み、額を地面に擦り付ける覚悟で診療サービスに従事した。「好きなオペに邁進できるよう、どうか感染症はこっちに丸投げしてください」と営業したのだ。

専門家の能力と便利さが現場で理解してもらえば、「なくてもよいもの」が「あったほうがよいもの」に転じる。次第にそれは「なくてはならないもの」に昇華する。

華やかな大学病院のエース的存在、例えば循環器内科とか、脳外科を家の玄関や客間に例えるならば、我々感染症屋は便所のような存在である。汚物を扱い、顕微鏡で覗き、対峙する存在だ。しかし、便所がない家は不便だし、そこが汚かったり、正しく機能していない家にろくな家はない。我々は神戸大学病院の素敵なトイレであろうと念じたのである。

感染症医のニーズが激増し、雨後の筍のように各地に感染症科、感染症医が量産される現在であっても、神戸大学病院のトイレは日本で五本の指に入るトイレであろうと、卑下しながらも自負している。

10年前から行っているとされるスライドなしの講演で声をはりあげ、ショッキングな内容を交えながら迫力ある講演を行われた。

(編集注)

◆ 学生よりの提案と挨拶

塚本修一（3年生）



塚本修一

今回3名による講演は大変わかりやすく学内の現状を説明された。次回に学生の立場から「基礎臨床融合プログラム」の特待生制度や学生がカリキュラム策定に積極的に関与する「学修委員制度」の導入など学生の活動を是非とも神緑会全体にお伝えしたい。

この提案を受けて、神緑会理事会は次回総会、平成31年1月末の土曜日開催に向けて学生講演の時間をとるよう検討に入りました。歓迎すべき提案です。



佐藤郷介（5年）

■ 情報交換会 開始の挨拶



前田会長挨拶

定時総会の運営のご協力、ありがとうございました。

又、ご講演いただいた金谷先生、神戸大学の平田病院長、飯島、岩田各教授にはわかりやすいご講演ありがとうございました。

神緑会館内の展示スペースを医学専門学校、県立医科大学、国立移管と昭和からの内容で充実いたしました。会食の間にご覧いただきますようお願いいたします。



乾杯 美崎先生（32年卒）



優秀女性研究者賞 杉浦麗子



会場風景





閉会挨拶 宮本理事



会場風景

神戸大学医学部創立75周年・ 神戸病院創立150周年 記念事業

■記念事業資料送付状、歴史的事実の提示（表紙と目次）

神戸病院創立150周年、神戸大学医学部創立75周年

記念事業資料送付状

皆様方には相変わらず、先行きの決まらない医療の中で大変なご苦勞をされていることと思います。

さて、同封の「歴史的事実の提示」として改めて作成した資料は、これまでに神緑会広報誌や総会講演で提示された内容ですが、改めて整理することにより、偶然に近い幸運により判明したことの積み重ねが神戸大学医学部の宿命と考えるからです。近隣の旧帝国大学とされる大学よりも低く見られるのは、官立とされる大学(京都大学:明治30年帝国大学設置、医科大学開設明治32年、大阪大学:緒方洪庵適塾が源流だが、昭和6年大阪帝国大学とその医学部)との差に過ぎません。先輩諸氏が苦勞を重ねてこられた重みを感じつつ、次の時代に突き進む大学を築き上げましょう。

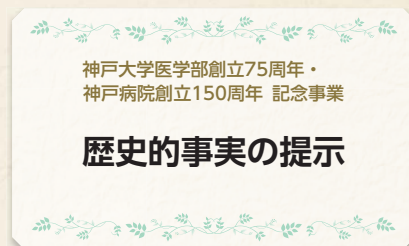
ご存知のように平成28年12月にスタートした記念事業は、神緑会のより一層の努力によるしか目標を達成できない認識があります。平成30年度定時総会を前にした6月2日評議員会で理事会として皆様のご意見をお聞きし、「各学年クラス代表、各支部長に資料をお送りし、手渡しでそれぞれが会員に届けるようにするべきだ」とのご提案が昭和53年卒のクラス代表からありました。理事会の進む方向を後押しいただき、感謝にたえません。

従って当面、1)各学年クラス代表、支部長に5部又は10部送付し、主に手渡しで広めていただく、2)不足分等について神緑会本部に送付先等をご指示していただきます。但し、寄付の意志を前提でお願いします。

「歴史的事実の提示」の神緑会の考え(第2報)46頁の方向で考えておりますので種々の活動の参考にお願いします。次いで47頁で座談会の開催については、昭和卒は9月まで、平成卒は年内の開催をお願いします。

なお、関連病院については、これまでどおり、大学の責任で進めます。以上、ご多忙中とは思いますがご協力、よろしくをお願いします。

一般社団法人 神緑会
会長 前田 盛他 理事会一同



明治2年創立の神戸病院



県立医学専門学校



昭和19年4月20日 兵庫県立医学専門学校一週生入学記念

一般社団法人神緑会・神戸大学大学院医学研究科

一般社団法人神緑会・神戸大学大学院医学研究科共同発行 記念事業－歴史的事実の提示

目 次

	page
1. 神戸大学医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業募金趣意書（第1報） （ニュースレター第7巻第3号4頁）	2
2. 神戸大学医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業募金趣意書（第2報） （ニュースレター第9巻第4号4頁）	3
3. 活動内容のまとめ 医学研究科記念事業ワーキンググループ長 小川 渉（昭和59年卒）	4
4. 寄付の呼びかけ （ニュースレター第9巻第4号4頁）	
坂上 明（昭和24年 医専1回生）	5
（ニュースレター第9巻第4号5頁）	神緑会副会長 谷 恵美子（昭和58年卒） 5
（ニュースレター第9巻第4号6頁）	神緑会副会長 奥町富久丸（昭和48年卒） 6
（ニュースレター第9巻第3号6～7頁）	神緑会副会長 中野 康治（昭和52年卒） 7
150周年の基点	
5. 明治初期の神戸病院 （ニュースレター第6巻第2号9～14頁）	元 京都大学総合人間学部 藤田 英夫 氏 8
6. 明治期の神戸病院の跡地を尋ねて （ニュースレター第5巻第4号23～27頁）	神戸大学大学院医学研究科 寺島 俊雄 他 14
7. 県立神戸病院のモニュメントの解説－大発見の解明は昔の写真から－ （ニュースレター第8巻第2号16～18頁）	神緑会事務局 西島 政夫 18
75周年の基点と重要項目	
8. 兵庫県立医専の発足－徳島医学専門学校の閉校に伴う兵庫医専への学生移動 （ニュースレター第9巻第2号25頁）	21
9. 医専・医科大学の貴重な写真の募集 （ニュースレター第8巻第2号13～15頁）	下奥 仁（昭和29年卒） 22
10. 黎明期の神戸大学医学部に偉大な足跡を残した金子敏輔先生・医学英語教育 （ニュースレター第6巻第3号33～41頁）	高階 経和（昭和29年卒） 25
11. 兵庫県立神戸医科大学での医学教育の今日的意義・基礎配属実習実施 （ニュースレター第9巻第4号25～35頁）	松尾 理（昭和42年卒） 28
12. 神緑会館を中心とした 50周年記念事業 について （学術誌第17巻50周年記念号53～56頁）	下奥 仁（昭和29年卒） 36
13. ノーベル賞受賞の喜びの言葉（2012年10月8日） （ニュースレター第4巻第3号2頁）	山中 伸弥（昭和62年卒） 40
14. 神緑会からの心からのお祝い・経過と今後の進め方 （ニュースレター第4巻第3号28～30頁）	会長 前田 盛（昭和46年卒） 41
15. 60周年記念事業と楠地区建物の現状	44
16. 記念事業の本格化へ 一般社団法人神緑会の考え（第1報）平成27年12月吉日	45
17. 9桁の意味、記念事業終盤へ 一般社団法人神緑会の考え（第2報）平成30年4月18日	46
18. 記念事業としての座談会開催について	47

「歴史的事実の提示」は、2年半経過でも低調な募金活動へのテコ入れとして、大学と共同で作成しました。6月定時総会より配布を開始し、前ページ送付状記載のように、寄付を前提に手渡しでクラス代表、支部長を通して会員に配布しようとするものです。2000名を目標に活動を進めますので、ご理解をお願いします。

一般社団法人神緑会理事会

理事からの呼びかけ

神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年を迎える「私」と「あなた」

一般社団法人神緑会常務理事 中村 誠（平成元年卒業）

平成元年卒業で、昨年から常務理事を仰せつかっている中村 誠と申します。大学では眼科学分野の教授と附属病院副院長を拝命しております。

平成31年4月に神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業が開催される予定であることはご案内の通りです。母校の記念すべき事業にぜひ神緑会員の皆様に、物心両面でご支援を賜るよう檄を飛ばせ、との前田盛理事長のご下命を受け、若輩にも関わらず、雑文を認めている次第です。

この平成の30年間は、私にとりまして、文字通り医師人生そのものでありました。平成は様々な面で昭和の時代に終止符が打たれることで幕を開けました。昭和天皇の崩御、ベルリンの壁崩壊、バブル経済の終焉、2年に及ぶ近鉄と西武の因縁の完結などなど。ですが、研修医時代は、気分的には完全に昭和のまま、教授が頂点の厳格なヒエラルキーのもと、「24時間戦えますか」のキャッチフレーズ通り、滅私奉公に疑問も呈さず、そしてそれが実は苦ではなく、倫理的には実に伸び伸びと仕事のできた時代でした。

それが、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件を境に、「平成」の名称とは裏腹に、社会的にも医療の面でも、大きな変革が起きていきました。平成不況が第三次ベビーブームの到来を許さず、極端な少子化の遠因となった一方、医療の発達が皮肉なことに超高齢化を促し、日本は未曾有の棺桶型人口構成への道を進んでいます。医局制度の崩壊と研修医だけの待遇改善の導入により、地域医療の土台は大きく揺らぎました。学術的には「Impact factor」が導入され、本来、楽しかったはずの研究が競争に変質し、研究のねつ造や改竄が日常茶飯事になりました。そのおかげで、規制が著しく強化され、研究は息苦しい苦行に変わりました。臨床的には、営利とは対極にあるべき医療に「経営」指標を導入したため、消防や警察と同様、本来「暇」が一番であるべき病院の稼働率は限界にまで高められるようになりました。医療費を削減したいのか、それとも不必要な医療需要の増加を図りたいのか、わけがわかりません。

そんな時代にあっても思い出すのは、谷川俊太郎の詩、「死んだ男の残したものは」の最後の二節です。

死んだ彼らの残したものは 生きてる私 生きてるあなた

他には誰も残っていない 他には誰も残っていない

死んだ歴史の残したものは 輝く今日と また来る明日

他には何も残っていない 他には何も残っていない

昭和の名作が、終焉を迎える平成のその後の道標となり、神戸大学医学部創立100周年・神戸病院創立175周年もまためでたく迎えられよう、「生きてる私 生きてるあなた」が英知を振り絞って未来を開拓する。今回の事業がそんなマイルストーンになることを祈念しています。

神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業への募金お願い

一般社団法人神緑会理事 山崎 峰 夫（昭和56年卒）

今年2018年は明治151年にあたります。明治元年7月12日に兵庫県が設置されたことから、今年は県政150周年となり、兵庫県ではさまざまな記念事業が企画・実施されています。昨年は神戸港開港150周年ということで、神戸市が中心となって多くのイベントが催されました。そして、来年は？というところ、神戸大学大学院医学研究科・医学部医学科の前身、兵庫県立医学専門学校の創設母体となった神戸病院の創立150周年

です。さらには医専創立からは75周年となることから、神緑会会員にとって、2019年はめったに遭遇することのないとても分かりやすい節目の年となります。

私は、どちらかと言えば兵庫県内でありながら、完全に大阪文化圏である尼崎で育ちました。日常生活も、買い物や外食に出かけるといえば、大阪方面が9割以上、三宮に出ることは数か月に1回くらいという状況でした。幼少時、私はよく病気をしていたのですが、お世話になった開業の先生は、京大、阪大、関西医大のご卒業で、神戸医大卒の先生は全く存じ上げていませんでした。そのようなことから神戸市に医学部があると初めて知ったのは、小学校2年に国立移管で神戸大学に医学部ができる、というニュースを聞いたときでした。ところが、縁あって昭和50年に神戸大学医学部に進学した後は、神戸が活動拠点になり、まもなく、まるで昔から自分は神戸人だったというような意識で振る舞うようになりました。

ところで、私は平成7年から17年まで奈良県立医科大学に在籍していました。そこでは、自分は神戸大学出身であり、また神戸人であることを常に意識していました。言葉を変えると、神戸大と奈良医大の違いは何か？神戸と奈良の風土はどのように違うのか？をいつも考えていました。もちろん、優越感や劣等感を持つことがその目的ではありません。しかし、校風の違いや地域性の違い、は確かに存在します。その「差」を知り、何がそれを生み出すのか、それはさらにどのような違いを新たに生み出すのか、という比較文化論的考察そのものが私にとってとても面白かったのです。奈良の同僚は、私を神戸人として接してくれ、しかも彼らも互いの「違い」を知ることを楽しがってもくれていました。

今は、医学部を受験する際、「校風」に魅かれてというよりも偏差値を理由にして学校を選ぶというのが実際のところだといえますが、それでも「縁あって」入学した学校で育った環境は、医療との関わりで生きていく限り、その後死ぬまで自らの思想・感性・行動様式に影響を与えます。そのおかげで、今、自分が医師として社会において多少なりとも活躍できているのだと思います。その意味で、Alma materたる神戸大学医学部医学科に感謝しています。そして、そこで同胞である良き医療人が変わらず育成され続けることを願っています。

先生方におかれましても、ぜひ記念事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業への協力お願いの呼びかけ

一般社団法人神緑会理事、大阪神緑会副会長 岡村雅雄（昭和56年卒）

平成31年4月に迫った神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業に向けて、最終の寄付活動のご協力をお願いを神緑会役員の一員としていたします。

私は卒業後、神戸大学旧第2外科に入局し、平成3年より愛仁会高槻病院にて外科医として入職、平成22年より高槻市内の愛仁会総合健康センターにて現在まで健診業務、産業医として主に活動しています。医療法人愛仁会には在籍28年目となります。

愛仁会は、昭和33年開設時の初代理事長は神戸医専1期昭和24年卒の故竹中普久先生で、千船診療所として3名のドクターで始められました。その後、おもに神戸大学卒業生が中心となって活動し、創立60年を前にした現在、愛仁会グループは千船病院、高槻病院、明石医療センターの急性期病院と愛仁会リハビリテーション病院、尼崎だいもつ病院、しんあい病院の慢性期病院の総病床数1680床にその他介護施設を含め、常勤医師456名が従事しています。常勤医師のうち神戸大学卒業生は昭和37年卒の永井公尚先生、中村壽美雄先生を筆頭に平成30年卒の新研修医10名まで130名が在籍しています。特に千船病院、高槻病院は大阪にあり、神緑会大阪支部としての大阪神緑会の事務局は昭和56年より愛仁会本部に設置されています。その関係で私も大阪神緑会の役員を仰せつかっております。

大阪神緑会は昭和35年初代会長坂上昭先生（昭和24年卒）をはじめ20数名により発足し、平成30年3月末で会員数は520名、うち勤務医296名、開業医195名、その他29名となっており、毎年7月に総会、10月末に四季会・激励会と2度の集会を50名程度の参加者で開催し、奇数月第3金曜日に理事会を10名前後で行っています。この度の記念事業への協力も大阪神緑会で集まるたびごとに話題に挙げてきましたが、なかな

か寄付も伸びない中、初代会長の坂上 明先生が多額の寄付をされたことは誇らしいことでした。また、大阪神緑会初代会長と愛仁会初代理事長が同期でいらっしゃることに歴史を感じずにはられません。神戸と大阪は距離的にはそう遠くはありませんが、医療圏としては結構離れている実感があり、大阪府下には大阪大学、大阪市立大学、大阪医大、関西医大、近畿大学と多数の大学病院とその卒業生が競合しながら活動し、諸先輩方はその中でお互い励ましあいながら頑張ってきたのだなと思います。そういう意味での同窓生、同窓会のつながりは非常に大切なものであり、その原点、根本となる神戸大学医学部、神戸大学附属病院の発展を願わずにはられません。

残り半年となった記念事業への応援活動も最後の追い込みとなってきました。神戸大学医学部創立75周年、神戸病院創立150周年、この機会に改めて同窓生として神戸大学医学部、神戸大学附属病院の発展のための募金寄付のご協力をお願いいたします。

理事会よりの情報とお願い

- ・ **記念誌**：12月の第1回会合のあと、動いていなかった委員会が8月9日に開催されました。大学が中心になるのは当然として神緑会の内容（座談会や投稿）も含まれるよう要望した。
- ・ **記念式典**：6月の日曜日を予定し、学長等の日程確保に努める。特別講演には山中伸弥京都大学教授を予定する。
- ・ **各学年同窓会の開催**：少し呼びかけが遅れた感がありますが、ホームカミングデイの重点学年60周年（昭和33年卒）～10周年（平成20年卒）の各10年毎の6学年を手始めに、これら以外の他の学年でも本年から来年6月までに同窓会の開催をお願いします。学年によっては、次の開催を数年先に予定されているかと思いますが、記念事業の年としてご協力をお願いします。

交友プランニングセンター



友月書房で『あなたの思い』をカタチにしませんか？

全国でもトップクラスの自費出版制作の実績。豊富な知識を持ったスタッフも常駐しております。自費出版のことなら、まずはお電話でお気軽にご相談ください。

あなたの思いが詰まった大切な作品を素敵な本にいたします。

「友月書房」自費出版の制作実績



エッセイ・自分史・記念誌・詩・句集・小説・画集・写真集など

交友印刷株式会社

本社・工場・交友プランニングセンター「友月書房」

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目4-5

TEL(078)303-0088 FAX(078)303-1320

✉ kpc@koyu-p.co.jp 《交友プランニングセンター「友月書房」専用》

🌐 <http://www.koyu-p.com/yougetu/> 《友月書房HP》

大倉山祭開催に向けて

2018年度大倉山祭実行委員長 大野 聖 真 (4回生)

2018年度大倉山祭実行委員長の大野聖真と申します。今年度も無事、大倉山祭が開催できることが決定しました。今年度は11月18日(日)に開催します。

大倉山祭は神戸大学医学部医学科の学生による学園祭です。楠キャンパスで行われ、全イベントの期間を合わせると1カ月に亘ります。開幕を飾るのは10月20日(土)に行われるスポーツ大会です。六甲キャンパスのグラウンドで行われるこの大会は男女問わず参加が可能で、上位チームには景品もあり、熱い戦いが繰り上げられます。翌週10月27日(土)にはホームカミングデーが開催されます。神緑会会員の方々、病院の先生方は今年もどうぞよろしくをお願いいたします。11月10日(土)には一般の方々や学生を対象とした無料の公開講座、医療シンポジウムがあります。そして11月18日(日)には大倉山公園の噴水のある広場にて本祭が行われます。数々の模擬店や様々な趣向を凝らしたステージ企画が華やかに彩ります。今年は全37名で構成される大倉山祭実行委員が運営を担当し、現在も身を粉にして企画・準備を進めております。

今年の大倉山祭のテーマは「コーベ・ブルー～平成最後の青春祭～」です。長く歴史の続いてきた大倉山祭も今年で一度、「平成」という時代の終わりを迎えます。平成の最後こそ、これまでで一番盛り上がる祭りにしたい、そして新たな時代を派手に迎えたいという思いからこのテーマに決定しました。このテーマに基づいた企画を現在も思考して

おります。未熟で青い私たちですが、学生一同その溢れんばかりの力を注ぎたいと思います。

今年の医療シンポジウムは神経生理学と抑うつ薬について、神戸大学医学科の学生、神経生理学分野から教授の和氣先生、薬理学分野から教授の古屋敷先生が講演をしてくださります。上述の通り、学生のみならず一般の方々も参加可能で、だれでも楽しみながら医療に触れる機会となっております。昨年同様、今年も大変興味深い内容となるでしょう。この場をお借りして講演される方々に感謝申し上げます。

今年も更なる大倉山祭の発展と充実を目指し、委員一同力を合わせております。その中で何度も、私たちが大倉山祭に向けて動くことができることへのありがたさ、周りの方々のご声援の温かさを実感しております。ですが私たちだけでは及ばない場面も多々あり、費用に関しても様々な工夫を凝らし会議を重ねておりますが苦しい状況です。更なる皆様の温かいご声援、ご支援お待ちしております。9月ごろにご寄付願いを送付させていただきますので、御一考のほど、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様のご来場を心よりお待ちしております。平成は今年で終わりですが、今後とも大倉山祭の発展に繋がられますよう、様々な意見・感想を頂戴したいと思います。実行委員一同、大倉山祭の成功に向けて尽力致しますので、一層のご支援よろしくをお願い致します。なお、ご寄付のお願いは別途郵送でお願いします。



委員長

実行委員会メンバー

神緑会合唱団へのご参加のお願い

兵庫県立がんセンター病理診断科 梶本和義（平成6年卒）

滋賀医科大学臨床教育講座 伊藤俊之（平成3年卒）

1. 神戸医大男声合唱団

昭和26年頃、音楽好きの学生達が集まって「神戸医大男声合唱団」が誕生しました。その後、年々優秀なメンバーが入部して最盛期には約40名に達し、毎年才能豊かな指揮者を輩出して実力をつけ、定期演奏会、神戸五大学交歓合唱音楽会、コンクール、テレビやラジオへの出演、他大学への賛助出演、西医体前夜祭への出演など、医科系としては珍しい大活躍をしました。練習はほとんど毎日行われました。解剖学実習、試験などで忙しかったのは今も昔も同じでしょうけれども、当時の学生数は1学年80名で、運動部とのかけ持ちが多かった部員達は、時間のやりくり大変苦労したそうです。

このように、医科系としては日本一と言われるほどのハーモニーを誇った神戸医大男声合唱団でしたが、昭和39年の国立移管の頃に、惜しくも消滅してしまいました。

【活動記録】

昭和26(1951)年 神戸医大男声合唱団設立

《在籍者》最盛期には約40名

《主な活動》定期演奏会やコンクールの他、テレビやラジオへの出演、西医体前夜祭、神戸五大学（昭和23(1958)-41(66)年：甲南大・神戸外大・神戸医大・神戸商大・神戸大）交歓音楽会への参加

昭和39(1964)年頃 合唱団活動が停止



淡路島・富島で合宿（チャーターした漁船の上で）
昭和34(1959)年8月

2. 神緑会男声合唱団

それからしばらくの間、OBが集まる機会もありませんでしたが、昭和61年にひょっこり出て来た昔の演奏会の録音テープをかつての仲間で聴く会を催したのがきっかけとなり、「もう一度歌いたい」と約30名のOBで結成されたのが『神緑会男声合唱団』です。

昭和61年秋から合唱団としての活動を再開し、黒人霊歌やロシア民謡、映画音楽、更に団員作詞・作曲の組曲などレパートリーを徐々に充実させました。学生もメンバーとして加わるようになり、昭和62年1月の神緑会新春懇親会での演奏を皮切りに、昭和62年11月の大倉山祭に出演し、昭和63年には遂に第1回リサイタルの開催に漕ぎつけ、合計11回のリサイタルを開催しました。ところが、団員の新旧交代がうまく進まず、残念ながら合唱団の活動は平成28年に事実上停止してしまいました。

【活動記録】

昭和61(1986)年 神緑会男声合唱団設立

《在籍者》設立時には約30人、学生メンバーは15人

昭和62(1987)年 神緑会新春懇親会で初演奏（1月）、大倉山祭で演奏（11月）

昭和63(1988)年 第1回リサイタル開催

）

平成16(2004)年 第11回リサイタル開催

平成28(2016)年 合唱団活動が事実上停止

【神緑会男声合唱団のエンブレム】

神緑会合唱団のエンブレム（マーク）の Männerchor（男声合唱）は、神戸医大男声合唱団時代のドイツ語名 Männerchor-Medizinische Hochschule Kobe の名残りであり、'51は神戸医大男声合唱団発足の年、'86は神緑会男声合唱団発足の年を表わしています。

（上記引用 第一回神緑会合唱団リサイタルのパフレット）



神戸大学医学部合唱部との懇親会
金龍閣 昭和63(1988)年2月



創立50周年記念式典・祝賀会 平成6(1994)年9月25日

第3回リサイタル
神戸文化ホール中ホール
平成2(1990)年6月16日

3. 神緑会の合唱団設立に向けて

最近になり、学部生時代に合唱団に加わっていた元学生メンバーが、歴史あるこの合唱団を是非とも受け継いでいきたいと考え、活動再開に向けた検討を内々に始めました。元学生メンバーといっても、今や各自の置かれた立場は様々ですが、同門の方々と声を合わせ、ハーモニーを作り出ししていく合唱本来の楽しさを追い求める気持ちは共通しています。ただ、立場が様々なゆえに、元学生メンバーだけでは合唱団の活動再開が大変困難であるため、各方面にご支援やご協力を求めているのが現状です。

新設の混声合唱団です。まずは、神緑会の式典で学歌を歌ってみませんか。

練習は、月1～2回、神戸大学医学部構内で行います。

連絡先 神緑会事務局 電話078-361-0616

退職のご挨拶

前神戸大学大学院医学研究科疫学分野 教授 西尾久英 (昭和55年卒)



<はじめに>

私は、平成30年(2018年)3月31日をもって、神戸大学医学部(神戸大学大学院医学研究科)を退職いたしました。昭和49年(1974年)に

神戸大学医学部に入学して以来、すでに44年間の月日が流れています。この間、神戸大学医学部附属病院以外の病院で働くこともありましたが、それらの病院も神戸大学医学部の関連病院でした。ですから、神戸大学医学部に入学して以来ずっと神戸大学医学部にお世話になってきたと言えると思います。私はさいわい教授職に就くことができましたが、退職のときは最終講義等の特別なことはしないで、静かに大学を離れていこうと思っていました。しかし、神緑会から退職に関連した原稿のご依頼がありましたし、神戸大学を離れるとなると、お世話になった先生方のことが次々と思い出されます。それで、この原稿のなかで、それらの先生方に退職のご挨拶をしようと思いなおすに至りました。

<小児科学教室入局、研修医時代>

私は、昭和55年(1980年)に神戸大学医学部を卒業して、松尾 保先生が主宰されていた小児科学教室に入局しました。学生時代にまわった小児科病棟の雰囲気が好きだったことが、小児科を選択するきっかけになったのだと思います。大学病院小児科での研修では、横山純好先生、高橋利和先生のご指導を受けました。

<姫路赤十字病院時代>

昭和56年(1981年)から2年間、姫路赤十字病院小児科でトレーニングを受けました。昭和56年当時の姫路赤十字病院小児科には、松永剛典先生(部長)、梅澤芳弘先生、三輪知己先生、櫻井 隆先生、黒坂文武先生、中沢 洋先生、佐竹 格先生、石田明人先生がおられました。ここで、私は、これらの先輩の先生方にかわいがられ(いじめられた、という意味でなく、大事に、大事に扱われたのです)、小児科臨床の基本を懇切丁寧に教えられました。先輩の先生方は非常に教育熱心で、本当によく教えてくださいました。また、お酒がでるお店にも、よく連れて行ってくださったものです。それ

で、私は、よくある病気から診断に難渋する病気まで、いろいろな病気をどのように診るのか、どのように治療するのか、患者家族とはどのように接するのか、小児科臨床の基本について徹底的に学ぶことができました。この時の先輩の先生方には、いくら感謝しても感謝しきれるものではありません。姫路時代のことを思い出すと、うれしくて、なつかしくて、涙が出てきます。

<神戸大学大学院時代>

昭和58年(1983年)に神戸大学医学部小児科学教室に戻ってきて、大学院生として研究を始めました。大学院での研究テーマは先天代謝異常症に関するもので、指導教員は児玉荘一先生でした。先生は、夜遅くまで論文を読んだり、実験したりの毎日を過ごしておられました。そして、私も、いつの間にか、児玉先生のようなライフスタイルになっていきました。若い時にこのような習慣を身につけることができたのは、児玉先生のおかげです。また、この大学院時代に、公衆衛生学教室の住野公昭教授、ガジャマダ大学(インドネシア)のスナルティニ先生と知り合いになることができました。住野先生からは、ガスクロマトグラフィーの技術を教わりました。スナルティニ先生は、児玉先生のもとで内分泌学の勉強をしていました。私が自分の研究室を持った時に、スナルティニ先生は自分の後輩の若い医師を次々と送ってくださいました(かれらは、大学院生として、私の研究室で働いてくれました)。

<国立療養所兵庫中央病院時代>

大学院博士課程を修了した昭和61年(1986年)に、国立療養所兵庫中央病院に赴任しました。この直前に私は家内と結婚していましたので、国立療養所兵庫中央病院の官舎で新婚生活を始めることになりました(本当に懐かしい!)。当時、この病院には、真田幸昭先生(小児科統括、小児慢性疾患病棟担当)、溝尻素子先生(小児慢性疾患病棟担当)、和田博子先生(重症心身障害児病棟担当)がおられました。ここでも、私は一番若く、先輩の先生方にかわいがっていただきました。私が担当した病棟は、筋ジストロフィー(小児)病棟でした。この病棟に入院している患者さんの大多数はデュシェンヌ型筋ジストロフィー(DMD)でした。病棟の雰

困気は、DMD が治療法のない難病であるにもかかわらず、決して暗くありませんでした。むしろ明るい感じでした。これは、きっと、この病棟の患児たちをケアしてくれていた看護師さん、生活指導員さんのおかげだったと感謝しています。国内では、呼吸不全を示すようになった DMD 患者さんにも人工呼吸器を装着しようという動きが出てきました。国外では、私が赴任した年（1986年）に、DMD の責任遺伝子が同定され、翌年にアメリカのグループによってジストロフィン・タンパク質が報告されました。このような状況のもと、私は DMD をはじめとする筋肉疾患の臨床研究を開始することにしました。

<神戸大学医学部小児科学・助手時代>

平成 2 年（1990年）、神戸大学小児科学教室に戻りました。小児科学教室の新しい主任教授である中村 肇先生から「新しい小児科学教室も分子生物学の時代に入った。松尾雅文先生の指導を受けながら、筋肉疾患の分子生物学を勉強しなさい」と言われました。松尾雅文先生のご指導を受けて、当時出たばかりで高価だったサーモサイクラーを使って、PCR 実験を始めました。この助手時代に、DMD 患者の遺伝子解析に関する数編の論文を発表しました。

<神戸大学医学部公衆衛生学教室・助教授時代>

1995年 1月17日、阪神淡路大震災が神戸の街を襲いました。私たち家族は、約 1 か月間、神戸大学医学部附属病院で避難生活を送りました。神戸大学医学部附属病院の活動もようやく復旧したところで、私は人生の転機を迎えました。このとき、住野公昭教授が「助教授として、公衆衛生学教室に来ないか」と声をかけてくださったのです。小児科学教室の中村 肇教授のお許しを得て、私は公衆衛生学教室に移りました。ここでは、住野先生のイタイタイ病の研究をお手伝いするかたわら、脊髄性筋萎縮症の分子遺伝学的研究を始めました。この阪神淡路大震災の直前に発行された Cell 誌に、フランスの研究グループによって脊髄性筋萎縮症の責任遺伝子が同定されたことが報告されていました。私は、大学院時代にも、兵庫中央病院時代にも、脊髄性筋萎縮症の患児を見ていましたので、この病気の研究をしたいと思ったのです。

<神戸大学大学院医学研究科・教授時代>

2002年 4月に、私は環境医学分野（公衆衛生学教室から環境医学分野に名前が変わりました。2009年

には、疫学分野という名前になりました）の教授に昇任しました。このとき、私は、脊髄性筋萎縮症を中心に研究を進めることを決意しました。この私の考えを支持してくれて、一緒に働いてくれたのは李明鎮先生（講師）、林 千代先生（教室員）です。

また、インドネシアからの留学生の諸君がよく実験をしてくれました。インドネシアからの留学生は合計 9 人いましたが、全員、ガジャマダ大学の若手研究者です。彼らは非常に優秀で、スナルティニ先生が非常に期待していた人材ばかりでした。

経済的な面でも、多くの先生のご支援をいただきました。研究費が枯渇してしまったときに助けてくださったのは、姫路赤十字病院の先輩の黒坂文武先生、植村幹二郎先生、同期入局の小寺澤敬子先生、後輩の石垣早知子先生でした。また、留学生に経済援助の手を差し伸べてくださったのは、小児科同門会の根岸宏邦先生でした。

李 明鎮先生が他の大学に移った後は、小児科の西村範行先生（准教授）、森貞直哉先生（准教授）、質量分析センターの篠原正和先生（准教授）が、私を助けてくれました。特に、篠原正和先生は、脊髄性筋萎縮症の新生児スクリーニング・システムの開発に大きな貢献をしてくれました。現在、篠原正和先生が中心になって、50以上の施設を巻き込んで、この新生児スクリーニングのパイロットスタディが行われています。

<おわりに>

私を助けてくださった多くの先生方には是非ともお礼を言いたくて、そのことを書いているうちに、だんだんと「小学生が遠足に行った後に書いた作文」のようになってしまいました。本当にたくさんの方に助けていただきました。もちろん、上に挙げた以外の先生方にも非常によくしていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。今、私は神戸学院大学総合リハビリテーション学部で教鞭をとっています。これから、もうひと頑張りして、医療に従事する若者を育てます。これが、これからの私の使命だと思っています。皆様、長い間お世話になりました。しかし、今後とも、これまでと同様に、何卒よろしくお願い申し上げます。

大北裕 前教授から「海外留学のすすめ」の停年退職のご挨拶を受け取っていますが、一部資料の未着で次号になります。

京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA)便り

京都大学 iPS 細胞研究所

神緑会の皆様、平素は iPS 細胞研究所 (CiRA) に継続的なご支援を賜り、誠にありがとうございます。今号では、iPS 細胞を使ってがんの治療法開発を目指した研究を進めている、金子新 准教授 (CiRA)、上田格弘元大学院生 (CiRA・増殖分化機構研究部門) らのグループが発表した研究成果をご紹介します。

iPS 細胞からヘルパー T 細胞の機能をもつ細胞を作り出す

金子新 准教授、上田格弘元大学院生らのグループが、免疫にはたらくヘルパー T 細胞と同様の機能を持った細胞をヒト iPS 細胞から作り出し、米国科学誌『ステム・セル・リポーツ』に発表しました。

体内に侵入した異物や、体内ですべてしまったがん細胞は、免疫細胞のはたらきによって攻撃されず。免疫細胞は、がん細胞との長い闘いの結果、疲弊してしまうことがあります。金子准教授らの研究グループは、iPS 細胞から元気に若返った免疫細胞を作製し、患者さんに移植することで、がんを治療することを目指し、研究を進めています。



記者に説明する金子准教授

免疫細胞にもいろいろな種類があります。中でも特定の異物を認識してはたらくもの全般を T 細胞といいます。T 細胞のうち、ヘルパー T 細胞は他の免疫細胞を活性化させる細胞で、キラー T 細胞は異物

を直接攻撃するはたらきをもっています。

がん細胞を攻撃する過程では、まず、異物を無差別に攻撃する樹状細胞という細胞がヘルパー T 細胞を活性化させ、ヘルパー T 細胞ががん細胞の情報を樹状細胞に伝えて活性化させます。さらに、活性化した樹状細胞は、がん細胞を攻撃するキラー T 細胞を活性化させます。

研究グループはこれまでに、血液に含まれているキラー T 細胞から iPS 細胞を作製し、再びキラー T 細胞に分化させることに成功しています。そこで、この手法を応用して、iPS 細胞からヘルパー T 細胞を作ることを試みました。まずヘルパー T 細胞から iPS 細胞を作製し、その iPS 細胞を T 細胞に分化させました。この iPS 細胞由来の T 細胞の遺伝子の特徴を調べてみると、T 細胞一般に特徴的な遺伝子を発現していましたが、ヘルパー T 細胞の働きに必須と考えられている遺伝子 (CD4 遺伝子) は発現していませんでした。

次に、iPS 細胞から作製した T 細胞にヘルパー T 細胞の機能をもたせるために、CD4 遺伝子を導入しました。さらに、培養条件を工夫し、CD4 遺伝子を導入した T 細胞に樹状細胞を活性化させるために重要と考えられているタンパク質 (CD40L) を発現させ、そのタンパク質を多く発現しているものを選び出しました。

この細胞の機能を調べたところ、生体内に存在するヘルパー T 細胞と同様に、樹状細胞を介してキラー T 細胞を活性化する機能があることがわかりま

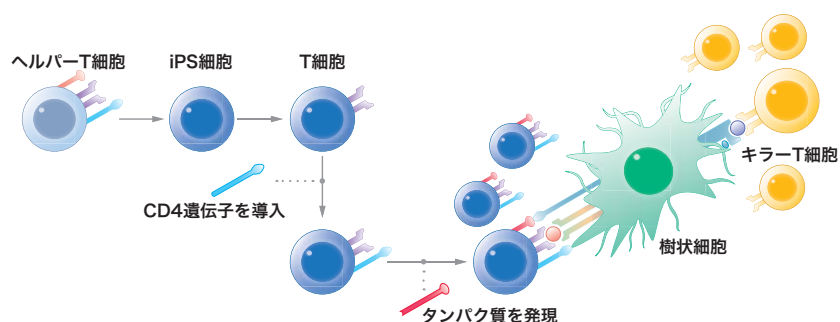


図1 タンパク質を多く発現した iPS 細胞由来の T 細胞が樹状細胞を介してキラー T 細胞を活性化する

した。(図1) また、がん細胞を移植したマウスの体内に、この細胞により活性化させたキラー T 細胞を移植したところ、がん細胞の増殖が抑えられ(図2)、マウスの生存率が向上しました。

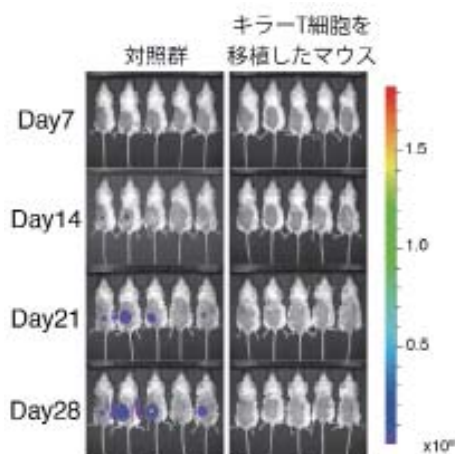


図2 がん細胞を移植したマウスの体内に、活性化させたキラー T 細胞を移植すると、がん細胞の増殖が抑えられた (色がついているところはがん細胞を示す)

この成果は、iPS 細胞由来のヘルパー T 細胞を移植することによって、生体内のキラー T 細胞を活性

化させ、がんを治療する方法の開発に役立つことが期待されます。

【論文名】

Generation of TCR expressing innate lymphoid-like helper cells that induce cytotoxic T cell-mediated anti-leukemic cell response

【ジャーナル名】

Stem Cell Reports

【著者名】

Norihiro Ueda, Yasushi Uemura, Rong Zhang, Shuichi Kitayama, Shoichi Iriguchi, Yohei Kawai, Yutaka Yasui, Minako Tatsumi, Tatsuki Ueda, Tian-Yi Liu, Yasutaka Mizoro, Chihiro Okada, Akira Watanabe, Mahito Nakanishi, Satoru Senju, Yasuharu Nishimura, Kiyotaka Kuzushima, Hitoshi Kiyoi, Tomoki Naoe, and Shin Kaneko

【iPS 細胞研究基金についてのお問い合わせ先】

iPS 細胞研究所 iPS 細胞研究基金事務局
 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53
 TEL : 075-366-7152 FAX : 075-366-7185
 メール : ips-kikin@cira.kyoto-u.ac.jp
 資料請求専用フリーダイヤル :
0120-80-8748 (平日 8時半~17時)
ハシレ ヤマナカ シンヤ

京都大学基金ウェブサイト
 「京都大学基金」で検索してください。
 URL は以下の通りです。
<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/>

神戸大学で取り組む認知症予防 “キャンパスシニアジム”

神戸大学大学院保健学研究科 木戸良明 (昭和61年卒)

神戸大学 学術産業イノベーション創造本部

特命政策研究職員 内村真紀

1. 超高齢社会と新オレンジプラン

厚労省が平成29年に「認知症施策総合戦略（新オレンジプラン）」を発表したことは記憶に新しいところです。現在500万人ほどの認知症高齢者が、今後2025年には最新情報では730万人に増加すると言われており、疾患増加の一途であるものの、根本治療薬の開発はいまだ成功しておらず、本邦での超高齢社会の現実と健康寿命の延伸が叫ばれつつあります。

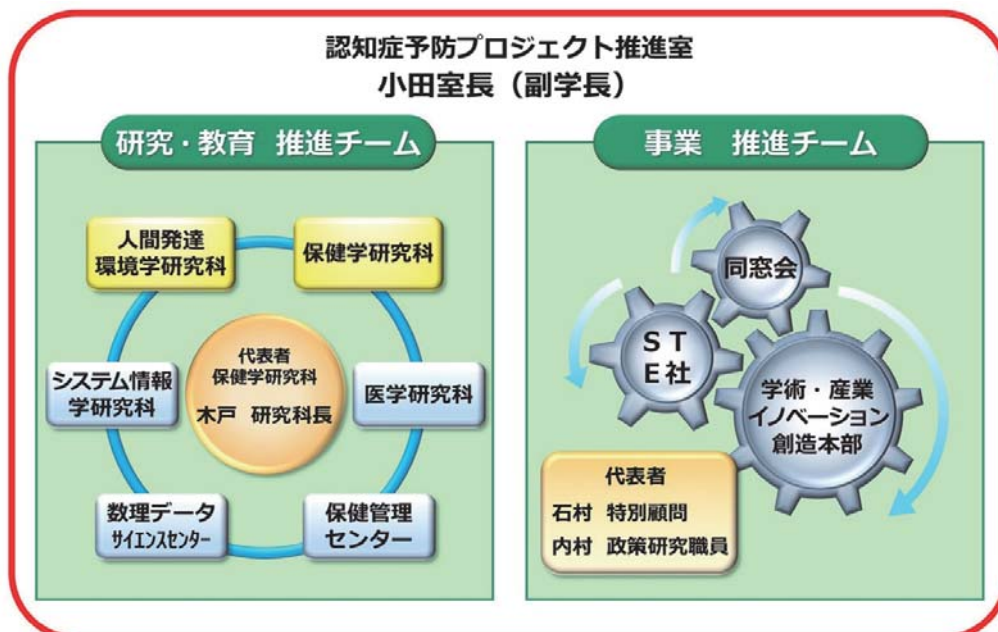
私どもは、下図のような神戸大学の本部を中心とした認知症予防プロジェクトチームを組織し、本年5月18日の学長記者会見において、そのプロジェクトの概要を発表しました。

本学の認知症予防プロジェクトは、発症してからの薬物介入では認知症制圧は困難であることから、認知症前段階からの発見と介入を可能とするシステムの構築を、生命・医学系（医学研究科、保健学研究科）、人間発達環境学研究科、およびシステム情報学研究科等が協働して目指します。具体的には認知症の予防、つまり PAD (Preventive

Alzheimer Disease) プログラムと称して稼働しており、文理融合されたプロジェクト編成による社会貢献と実装化をはかります。

2. 久山町モデルと Finger 研究

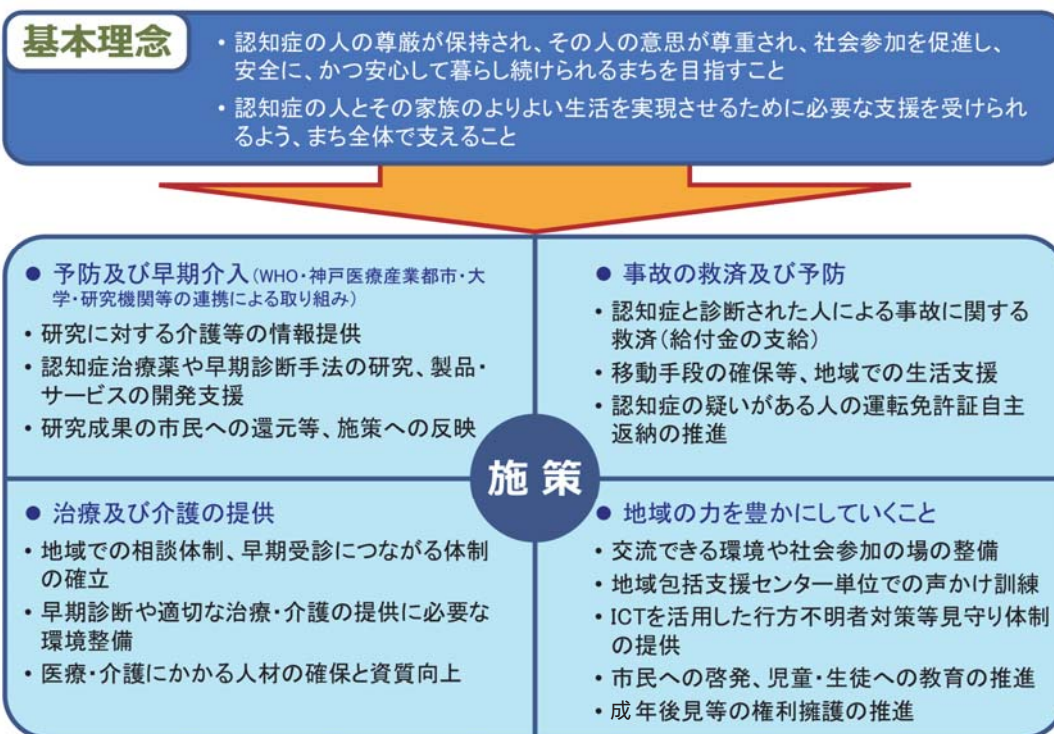
これまで認知症を引き起こす因子の解明や認知症予防に関する研究が様々な角度から行われてきており、後者についての代表的なものを紹介します。1つ目は九州大学による福岡県・久山町の全住民を対象にした認知症の研究であり、アルツハイマー型認知症患者増加率と糖尿病患者増加率が相関することが突き止められ、運動や適切な食事が認知症の進行を遅らせる効果があるとの結果が報告されています。2つ目は2015年に報告されたフィンランドのカロリンスカ大学によるフィンガー研究です。約2年間に亘り、軽度認知症と診断された約1,300名に対して、食事指導、運動指導、認知トレーニング及び血管リスク管理の4方面からの介入を行い、認知症評価点数で25%の改善があり、また処理速度では150%の改善結果が得られたことが報告されています。



3. 神戸市の「認知症の人にやさしいまちづくり条例」の公布

神戸市は本年4月に、「認知症の人にやさしいまちづくり条例」を施行しました。この基本理念や施策の策定に、本学の古和久朋教授（神経内科；保健学研究科）が有識者委員として参画しています。本条例では、万が一認知症高齢者が交通事故を起こした場合の保険補償の体制整備もうたっています。

また2014年からは、神戸市は神戸大学およびWHO神戸センターなどとの共同研究で、70,000名規模のアンケート方式の調査に基づき、2年あるいは3年後の認知症による要介護状態を予測する因子の解析や、高リスクの高齢者を対象とした介入効果を評価する神戸プロジェクトを遂行しており、今後は、予防プログラムの実践にともに取り組みでいく予定となっています。



(出所：神戸市ホームページ)

4. 予防プログラムの介入メニュー

こうした状況の中で、私たちは、認知機能の評価やエビデンスに基づく介入メニューを策定し、運動・認知・精神機能を強化・維持していくプログラムを提供することによって予防への取り組みを提案しています。健常な高齢者が定期的集える「キャンパスシニアジム」という名の集会場（六甲台THPルームや眺望館を予定）にお越しいただき、次図に示す「6つのプログラム」実践していただきます。そのことで、自ら認知症への入り口で踏みとどまることや軽度認知症（MCI）に一歩足を踏み入れた方には認知的に健常な状態に戻る、あるいは認知症への進行を抑制することを狙いとしています。

本キャンパスジムでは予防活動の最初に①血液検査を通じた健康状態と②運動機能検査を受けて

もらい、③また認知機能の評価検査を受けてもらうことで身体と認知の両面からの健康状態を確認します。こうした個人個人の現状を確認した上で、具体的には下表のようなメニューを週1回実施します。一定期間を終了した時点で参加者には再度、血液検査、運動機能検査、認知機能評価の3点を行い、実践活動の効果を確認します。この活動は従来

“キャンパスシニアジム” 6プログラム

- ① 認知・運動実践プログラム
- ② 認知機能評価プログラム
- ③ 血液検査プログラム
- ④ アクティブライフ評価プログラム
- ⑤ 医療機関との連携プログラム
- ⑥ 評価者育成プログラム

の研究目的のような一時的な実践ではなく、健常である限り継続することを念頭に置いており、長く楽しく続けられることを追求していきたいと考えております。また、このような活動をそれぞれのフィールドで広げたいと希望される方には、評価者育成プログラムにて研修頂き、終了後にご活躍いただけます。

医療のプロフェッショナルである神緑会員の先生方に、是非キャンパスシニアジムにご参加いただき、専門的なお立場からのご意見をフィードバックさせていただくことで、このプログラムをより良いものにしていきたいと考えております。

5. 神緑会会員の先生方を対象とした“キャンパスシニアジム”参加者募集のご案内

【プログラムの全体的な流れ】

- ・認知機能や身体機能、血液検査などの測定を受けていただきます。
- ・その後、週1回・1年間（計40回：真夏、年末年始を除く）、運動を中心としたプログラムにご参加いただけます。
- ・40回のプログラムが終了した後、もう一度、同

じ測定を受けていただきます。

- ・これらの測定やプログラムは、神戸大学内の施設などで行う予定です。

【認知症予防プログラムの内容】

- ・プログラムは、1回90分（週1回・計40回）です。
- ・筋力トレーニング、軽く息が弾むくらいの強さでの有酸素運動などを行います。
- ・認知機能を鍛えるトレーニング（いわゆる脳トレのようなもの）の要素も含めます。
- ・また、ヨガ、ダンス、カラオケや読書感想会などもプログラムに取り込む検討も行っていきます。

【参加対象と費用】

- ・参加対象は、原則として60歳以上の神戸大学同窓生とその配偶者で、健康上、運動することに支障のない方です。
- ・費用は初期登録料（個人データ管理票の作成費）2,000円、トレーニング費用は1ヶ月あたり最大5,000円です。

【問い合わせ先】

神戸大学大学院保健学研究科 総務係

078-796-4502

月曜日～金曜日 9:00～17:00

提供サービスメニュー

コンテンツ	頻度	所要時間	概要	指標	教える人の要件
1. 運動課題 (筋力トレーニング、課題運動)	週次 3回 /月	60分 ～ 90分	ストレッチや筋力トレーニング、認知機能の維持に有効といわれている二重課題で、体を動かしながら掛け算をしたりするエクササイズを実践します。 ご希望により、運動時間、動作、テンポによって初級・中級・上級へとコースがグレードアップします。	HRR 60% (心拍数)	運動指導の専門家
2. 無料オプション (図書館ツアー) *ヨガ *ダンス *カラオケ	週次 1回 /月	60分	要望が多い場合には、ヨガ、ダンス、カラオケ教室の開催も検討します。また卒業生の方は図書館の利用や本の貸し出しも可能ですので、希望に応じて輪読会も検討します。	特になし	専門家の指導も
3. 無料オプション (測定値管理アプリ)	週次	n/a	心拍数など計測値を入力できるスマートフォンアプリを希望に応じて提供します。経時的なデータをご自身でチェックすることが可能となります。	各カットオフ値に即す	n/a
4. 認知機能評価	初回 & 1回 /年	60分	臨床現場と同じ認知機能評価法を使用し、測定してご自身の現状を把握します。認知機能の評価は全般的認知機能、実行機能、記憶機能など複数の機能を測定します。	バッテリーのカットオフ値に基づく	臨床心理士の指導下に認定者が実施
5. 身体測定	初回 & 1回 /年	30分	身体、体重、筋力、歩行速度、血液データ（血糖値など）、血圧などの基礎情報を測定します（大学で行う場合は実費発生。1年以内に既に測定があるものは当該測定結果の流用可）	各指標に基づく (特に制限なし)	n/a

西日本豪雨

なにかお手伝いできることはありませんか？

松浦 秀夫 先生へ

先生の病院が大変な状況であろうことは承知しています。

同窓会（神緑会）として、心配しています。

前田会長からの指示で、「なにかできることはありませんか？」 お尋ねします。

回報先は このメールで結構です。

神緑会あて 電話 078-361-0616 Fax 078-361-0617

Mail sinryoku@med.kobe-u.ac.jp

暑さが厳しくなっています。 ご自愛の上、お仕事が進むことを願っています。

昭和48年卒 奥町富久丸（神緑会副会長）

神 緑 会 御 中

ご心配をおかけいたしました。

当院には豪雨による直接の被害はありませんでしたが、約1週間の断水があり、一部の検査や手術を中断いたしました。

この間多くの方面から給水を頂き、断水を凌ぐことができ、感謝いたしております。

現在は一部の地域を除き断水は解除され、病院はほぼ通常勤務に戻っています。

災害発生当初、呉市が陸の孤島と化したため、食料品、ガソリンなどが不足し、水以外にも救援物資の助けが必要でした。スーパーやコンビニの食品棚は空になりました。

JR 呉線、広島呉道路、国道31号線、山陽道経由東広島呉道路が広島、呉間の主要な経路ですが、災害発生当時すべてが土砂崩れ等で通行止めになりました。

広島港からフェリーで呉港に行く経路のみ動いていました。

あとは抜け道的な道路を使うほかはありませんでしたが、いずれも大混雑、大渋滞でした。

交通インフラも次第に回復してきていますが、JR 呉線、広島呉道路は回復の目途が立っておらず、開通した国道31号線などで通勤時間帯には大渋滞が起っていますが、物流はかなり改善しています。

ただ、病院職員の一部は通勤難民となり、疲労を心配していますが、しばらく続きそうです。

神戸大学出身者として、お心遣いいただきましたことを嬉しく思っています。

8月には広島支部会を酒井教授のお世話で開催予定ですので、このメールを頂いた件を報告致します。

有難うございました。

追 伸

呉の神緑会会員の河原恒一先生がお亡くなりになりました、ご連絡を神緑会からも頂きました。

広島支部会にはご出席を頂けないままとなり、残念に思っております。

済生会呉病院病院長 松 浦 秀 夫

豪雨被害のお見舞い有難うございます。岡山市の被害は少なく、自宅周辺も問題ありませんでしたが、倉敷市の方はテレビで報道されていますように、大変です。

岡大、川崎医大関係の医療者も現地に出掛けて治療に当たっています。眼科医のわたくしも16日だけでしたが、支援に参加しました。まだまだ継続しないとイケないでしょう。

岡山支部長 昭和43年卒 田淵 昭雄

兵庫県誕生物語

～五国から成る広大な領域はいかにして生まれたのか～

第1次兵庫県

(慶応4年5月～明治4年11月)

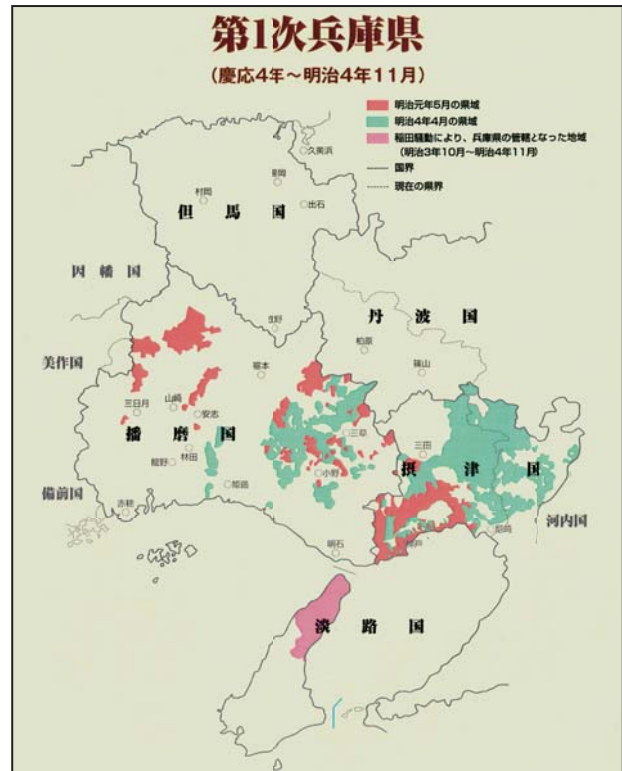
江戸時代末期、現在の兵庫県域は大名領や幕府直轄領など130を超える領主によって支配されていました。明治政府が成立すると、大名領は藩として旧大名による統治が続きますが、旧幕府領は、新政府が接収して府・県となり、慶応4年(明治元年・1868年)5月23日(新暦7月12日)、兵庫津周辺に散在する幕府領を管地とする兵庫県が設置されました。これを第1次兵庫県といいます。この時に就任した初代知事が、伊藤博文です。



兵庫県知事時代の伊藤博文

このころの県域は、いくつもの飛び地から成っていた上、日時の経過とともに複雑に変化していきました。

明治3年(1870年)5月に起こった稲田騒動(庚午事変)のために、一時的に淡路北部を管地としたり、現在の大阪府域にも管地を有するなどしていました。



第2次兵庫県

(明治4年11月～明治9年7月)

明治4年(1871年)7月、廃藩置県が行われ、藩がそのまま県となり、現在の兵庫県域には30を超える県が成立することになりました。

しかし、11月には行政区画の全面改正が行われ、現在の兵庫県域は、兵庫、飾磨(播磨全域)、豊岡(但馬全域、丹波全域、丹波3郡)、名東(阿波及び淡路全域)の4県に編成されます。このときの兵庫県は、摂津の西部5郡を管地とするもので、第2次兵庫県といいます。



第3次兵庫県

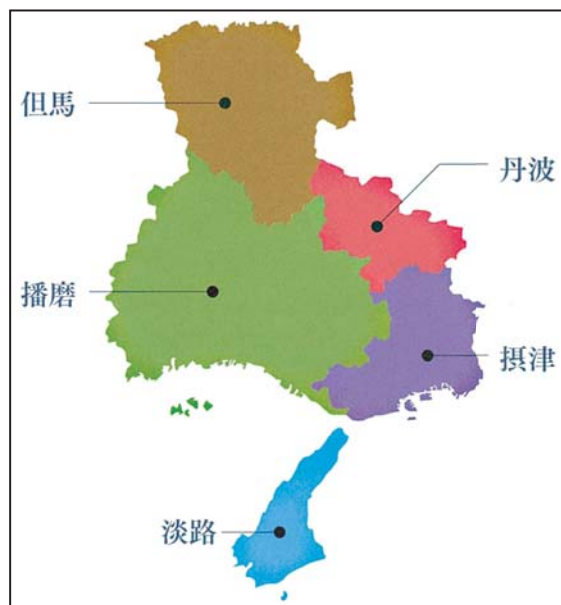
(明治9年8月～)

明治9年（1876年）8月、飾磨県と豊岡・名東両県の一部が兵庫県に併合されて、ほぼ現在の県域が確定しました。これ以後を第3次兵庫県といいます。

このような大きな県域になった理由については、次のようなことが言われています。但馬の出身で、内務卿大久保利通のもとで地租改正に従事し、その後、県知事や内務省の局長などを歴任した櫻井勉という人がいました。

櫻井は、府県統合に際し、大久保から豊岡県と鳥取県の統合に関して意見を求められたそうです。櫻井は、「豊岡・鳥取両県は歴史的に関係が深いですが、両県を往来する山間部の交通が不便です。かといって兵庫県を統合すると、面積が大きすぎます。豊岡県は、飾磨県と併合するのが良いと思います。」と述べますが、大久保から、「開港場である兵庫県の力を充実させるように考え直せ。」と言われ、第3次兵庫県の原案を考え出しました。

大久保はこの案を「一府県の増減に過ぎぬが、人々が幸福になって、県庁ひとつを減らすことができるなら、一挙両得である。」と賞賛したということです。



7月12日に国際会館こくさいホールで記念式典が行われた。小・中・高校生による発表と佐渡 裕指揮による演奏、五百旗部真氏による記念講演が行われた。資料は兵庫県による。

こうした経緯から、全国で唯一、5つの国＜摂津（阪神）、播磨、但馬、丹波、淡路＞で構成される、広域な県が誕生することとなりました。以来、それぞれに個性を持つ地域が時に競い合い、時に連携しながら、今日の兵庫県の多様性をつくってきました。

神戸大学ホームカミングデー 10月27日(土)

ごあいさつ

神戸大学長 武田 廣



『振り返れば六甲の山並～あの頃の友に会いたい』をキャッチフレーズに2006年に始めました神戸大学ホームカミングデーは、今年で第13回目を迎えることになりました。これまで多くの卒業生の皆様にご参加いただきましたこと、この機会に改めて心より御礼申し上げます。

神戸大学は、明治35年(1902年)に創立され、115年を超える歴史を有します。開学以来、「学理と実際の調和」という理念を掲げ、普遍的価値を有する「知」を創造するとともに、人間性豊かな指導的人材を養成することを使命とし、現在では10の学部と15の大学院、法学と経営学の二つの専門職大学院、経済経営研究所、先端融合研究環境、医学部附属病院、さらに多くの教育研究に携わるセンター群と複数の図書館を擁する文系と理系のバランスのとれた総合大学へと発展しております。

2015年には新たなビジョン「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学へ」を掲げ、国立大学の機能強化三類型において「世界最高水準の教育研究」を行う大学に名乗りを上げ、世界と競うグローバルな大学を目指しています。

また、自然科学分野で得られた研究成果を社会へ還元する事業創造に焦点を当てた、文理融合型の独立大学院として2016年4月に設置した「科学技術イノベーション研究科」から複数の大学発ベンチャーが誕生しており、今後の展開が期待される所です。

さて、今年のホームカミングデーも留学生ホームカミングデーと合同で開催し、記念式典では本学卒業生による講演を予定しております。また、各学部で卒業生・教員・学生による講演、ポスター展示、キャンパスツアー等工夫を凝らした企画を用意しております。ホームカミングデーが卒業生の方同士の旧交を温めていただく場であるとともに、教職員、学生、名誉教授との交流も深めていただき、神戸大学への理解を一層深めていただける場になればと思います。

各学部とも特定の卒業年次の方に、案内状をお送りしておりますが、卒業年次にかかわらず、より多くのみなさまのご参加をお待ちしております。ご家族の方ともぜひご同伴でご参加いただき、錦秋の神戸大学を満喫していただければと思います。

今年のホームカミングデーも、大学をあげて皆様のお越しをお待ちしております。

記念式典

司会 アナウンサー 朝山 くらみ氏 (H11年 経済卒)

【時間】 10:30～12:00

【場所】 出光佐三記念六甲台講堂(登録有形文化財)

- 【式次第】
- ・学長挨拶
 - ・同窓会代表挨拶
 - ・講演「私の神戸はじまり物語
～変動する地球、人と社会と～」
橋田 俊彦氏(S55年 理学部卒)
 - ・活躍する課外活動団体紹介
オブショアセーリング部
(Student Yachting World Cup 2017優勝)
 - ・神戸大学基金助成事例紹介
グローバルチャレンジプログラム体験発表
 - ・副学長閉式挨拶

講演者 橋田 俊彦氏 紹介
生年月日 昭和33年1月7日生



略歴

昭和55年 神戸大学理学部 卒業
昭和57年 神戸大学大学院理学研究科修士課程修了
昭和60年 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了
理学博士
昭和62年 気象庁 入庁
平成23年 福岡管区気象台長
平成25年 気象庁地震火山部長
平成26年 気象庁予報部長
平成28年 気象庁長官(現職)

ランチ・パーティー

進行 アナウンサー 朝山 くらみ氏 (H11年 経済卒)

【時間】 記念式典終了後(12:00頃)～13:00

【場所】 アカデミア館1階BEL BOXカフェテリア

【参加費】 2,000円

神大オリジナルグッズが当たる抽選会を行います。応援団総部吹奏楽部及びレイバンス・チアによる元気なアトラクションを予定しています。

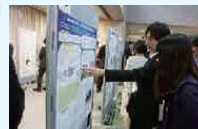
(ランチパーティー終了後、各学部へはホームカミングデー専用バスを運行いたします。詳細はP18をご覧ください。)

医学部医学科

【受付】 13:30～14:00

(医学部会館3階シスメックスホール入口)

- ◆開会の挨拶(医学部長) 14:00～14:10(シスメックスホール)
- ◆神緑会会長挨拶 14:10～14:20(シスメックスホール)
- ◆第5回神緑会YIA受賞講演 14:20～14:35(シスメックスホール)
第5回最優秀賞受賞者 糖尿病・内分泌内科学医員 西本 祐希
- ◆特別講演I 14:35～15:05(シスメックスホール)
「臨床研究に見る大学の責務と国民利益 -臨床研究法の施行を受けて-」
臨床研究推進センター長・特命教授 永井 洋士
- ◆特別講演II 15:05～15:35(シスメックスホール)
「出会いを扉を開くー私の糖尿病研究」
特命教授 清野 進
- ◆閉会の挨拶(医学科長) 15:35～15:45(シスメックスホール)
- ◆記念撮影 15:45～15:55(シスメックスホール)
- ◆第6回神緑会ヤングインベストイーターアワード(YIA)発表会 16:05～17:00(神緑会館)
- ◆懇親会 17:00～18:30(神緑会館多目的ホール)
医学部長挨拶、神緑会会長挨拶、神緑会合唱団、神緑会YIA表彰式



神緑会YIA発表会



懇親会・神緑会YIA表彰式

《同窓会神緑会企画》

- ◆神緑会展示 16:05～19:00(神緑会館)
・歴史展示(6) 県立医大・神戸大学医学部
・美術展示(2)

重点学年

60周年：33年卒、50周年：43年卒、40周年：53年卒、30周年：63年卒、20周年：平成10年卒、10周年：平成20年卒

各学年10名の大学講演会へのご出席、各学年同窓会の開催をお願いします！

お問い合わせ先

医学部学務課総務係

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1

Tel: 078-382-5200

神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業

1. 神戸大学との連携

- 1) 募金事業2000名の達成・(付) 神緑会への寄付 2) 大学支援
- 3) 記念誌の発行 4) 記念式典

2. 座談会及び投稿応募のお願い

- ・記念誌（神緑会独自の発行も行う。下記座談会第1～6Gを早期に印刷し、投稿を含めて順次印刷する。）
- ・参加者名簿

グループ	卒 年	参 加 者	開催日	場 所
第1G	昭和32年～ 36年卒	美崎教正、黒瀬均二、梶田明義、居村茂明、岡田昌義、 前田 盛	3月3日(土)	神緑会館
第2G	昭和37年～ 42年卒	藤谷哲造、水野耕作、西村亮一、老耨宗忠、木村 浩、 中村 肇、西岡正登、吉田祥二、杉原俊一、守殿貞夫、 山村武平、田中邦彦、谷山紘太郎、大賀祐造、前田会長	2月10日(土)	神緑会館
第3G	昭和43年～ 48年卒	酒井英世、澤井繁明、千原和夫、古出隆士、前田 盛、 横野浩一、奥町富久丸、久野克也	7月14日(土) 13:30～15:00	なだ万 神緑会館
第4G	昭和49年～ 54年卒	千葉 勉、河野百合子、貝塚高秋、益子和久、宮崎都志幸、 高橋利和、中野康治、岡田泰長、長嶋達也、中尾秀人、 澤田勝寛、吉矢晋一	7月21日(土) 14:00～	神緑会館
第5G	昭和55年～ 60年卒	苅田典生、岡村雅雄、山崎峰夫、矢谷暁人、谷 恵美子、 宮本正喜、小川 涉、山崎正明	8月19日(日) 14:00～	神緑会館
第6G	昭和61年～ 平成3年卒	川合宏哉、千谷容子、大岡均至、杉浦寅男、味木徹夫、 杉本幸司、安積 淳、中村 誠、長野 徹、田中一志、 勝司郁夫、本田 茂、藤尾久美、味木和喜子、黒田良祐、 島 扶美	7月28日(土) 14:00～	神緑会館
第7G	平成4年～ 9年卒	秋末敏宏、牧野 健、浅田全範、船田康弘、矢野嘉彦、 関口兼司	10月予定	神緑会館
第8G	平成10年～ 16年卒	浅原俊一郎、辻 剛、鬼木俊太郎、秦 明登、田村大介	11月10日(土) 15:00～	神緑会館
第9G	平成17年～ 23年卒	村上 冴、百瀬健次、篠崎健太、柴田智久、菱谷英里子、 上田 舞、池田太郎	11月～1月	神緑会館
第10G	平成24年～ 30年卒	福岡英志、坂上海央、鮫島智大、水木真平、中西 嵩、 西野彰悟、永上貴恵	11月～1月	神緑会館
第11G	学生	太田 毅、松木仁美、大江晃央、高木望夢、田中 黎、 佐伯祐哉	11月～1月	神緑会館

今後開催される座談会の出席者は予定です。最低でも、各学年1名とし、2～3時間の座談会を行う。

3. 支部体制の強化

- 1) 国内：特に関東支部 2) 国外：アメリカ（東、西海岸、ハワイ）

4. 記念活動の開催

- 1) テニス大会 2) ゴルフ大会 3) その他（大倉山祭への参加など）

5. ホームカミングデイ（10月27日）との連携

- ・主に学生（教員）との交流

編集後記

総会報告と記念事業の内容で記事を限定する予定が、時節柄、退職教授のあいさつや大倉山祭実行委員会の報告もあった。iPSからの情報は、本格的な人間対象の研究スタートが大きく報じられる前の段階でもあるが、いよいよ研究の人間への治療がはじまる節目となっている。

記念事業とは少しはずれるが、男声合唱団の経過と新しい呼びかけが届いた。県立医大から平成卒業世代とのつながりを中断に追いやったのは多少とも関わりをもった神緑会としては、大変残念です。今度こそ、平成卒の20年代から先にもつなげてほしい。座談会も盛りあがりが見られ、新しい流れとなるかもしれません。 編集委員会

神緑会ニュースレター 第10巻第2号

発行 一般社団法人神緑会
会長 前田 盛
〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5-1
神戸大学医学部内
TEL (078) 361-0616
FAX (078) 361-0617
sinryoku@med.kobe-u.ac.jp
印刷 交友印刷株式会社
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目4-5
TEL (078) 303-0088
FAX (078) 303-1320
info@koyu-p.co.jp

東京海上日動の

個人型確定拠出年金 (iDeCo)

3大メリット

- ◆**拠出時** 掛金の全額(限度額の範囲内)が所得控除となります。
 個人事業主なら年間最大816,000円、企業の役員・従業員は年間最大276,000円*1、公務員・私立学校の教職員は年間最大144,000円、家事専従者は年間最大276,000円の所得控除が認められています。
 *1 企業年金等の加入状況によって拠出限度額が異なります。
- ◆**運用時** 一般の預貯金では利息に税金が掛かりますが、確定拠出年金では運用益が非課税です。
 ※年金資産は特別法人税の対象となりますが、現在課税停止中です。
- ◆**受給時** 受け取る時にも、公的年金等控除や退職所得控除などの税制優遇があります。

ご注意点

- 原則として60歳までの途中引き出し、脱退はできません。
 また、掛金の拠出は60歳になるまでです。
- 加入時年齢から60歳までの期間が短く、かつ掛金額が少額の場合等は、手数料等により受取金額が掛金額合計を下回る場合がありますので、ご注意ください。
- 満60歳時点で通算加入者等期間が10年に満たない場合は、受け取り可能な年齢が最大65歳まで繰り下がります。
- 加入してから受け取りが終了するまでの間、各種手数料がかかります。

	手数料	支払先	支払方法
加入手数料	2,777円	国民年金基金連合会	初回掛金から差し引かれます。
事務取扱手数料	拠出1回あたり103円	国民年金基金連合会	拠出時に掛金から差し引かれます。
事務委託先手数料	月額64円*2	三菱UFJ信託銀行/ 日本マスタートラスト信託銀行	拠出時に掛金から差し引かれます。
運営管理手数料	月額313円*2	東京海上日動	拠出時に掛金から差し引かれます。

*2 複数月分の掛金をまとめて拠出する場合は、月額手数料に当該月数を乗じた額が差し引かれます。

◀ iDeCoに関するお問い合わせ・ご相談は

 **0120-719-401**

受付時間/平日 午前9時～午後8時 土日 午前9時～午後5時
 (祝日・振替休日・年末年始はお休みさせていただきます。)

<http://401k.tokiomarine-nichido.co.jp/>



東京海上日動

※この広告は、個人型確定拠出年金制度の説明および加入のすすめを目的として作成されたものです。確定拠出年金制度へのご加入やご加入後の運用指図にあたっては、必ず運営管理機関が提供する資料等をよくお読みの上、慎重にご判断ください。

※この広告は2018年1月時点での制度・税制をもとに作成しています。

401k-GM01-17009

東京海上日動 神戸支店 営業第一課

To Be a Good Company

お問い合わせ先(TEL):078-333-7233(受付時間:平日午前9時～午後5時)

神戸大学医学部の皆様へ

“安心なお見合い”をするなら
イーガーマリッジへ

親婚活

全国11万人以上の公的証明書提出済の一般会社員・公務員・医師・歯科医師・弁護士・公認会計士・エグゼクティブ・高学歴・高収入の方など、幅広い方が在籍しております。お子様の幸せ、ご家族皆様の幸せの為に、理想の結婚をサポートさせて頂きます。



会員数**11万人**なので、素敵な方にきっと出逢えます!

《婚活方法には…》

♥エグゼクティブパーティー ♥プロフィールでのご紹介 ♥お釣書での個人紹介など
さまざまな幅広い婚活方法をご用意しておりますので、お子様に合った方法で婚活ができます。

写真非公開で活動も可能 / 一般女性の方もご入会可能 / 有資格者のご紹介も可能



イーガーマリッジでは、個人情報の保護を徹底! 安心して婚活いただけます。
経済産業大臣認定個人情報保護団体の結婚相談業サポート協会会員『MCSA (マクサ)』に加盟し、個人情報の保護の強化に努めておりますので安心して婚活ができます。

毎月限定20名様

**90日間 結婚相談所
無料体験プラン
実施中!**

《90日間 結婚相談所無料体験プランの流れ》

- ① まずは下記フリーダイヤルか弊社ホームページにてお問い合わせください。
- ② 一度ご来社いただき、プロフィール用紙の作成を致します。
- ③ 店内スタッフによる撮影・画像修正が含まれております。
- ④ 全国約11万人が登録する中から、お子様に合った方をお探します。
- ⑤ 実際にどのような方からお見合いのお申し込みをいただいているかを確認しながら慎重に選びます。
- ⑥ 素敵な方がいましたら、正会員へご登録いただきますと弊社よりお見合い券を3枚進呈致します。
- ⑦ お見合いパーティーが1回無料になりますので、たくさんの方と出逢って理想の方と一緒に見つけましょう。



まずは下記フリーダイヤルまたは公式ホームページよりお気軽にお問合せください

イーガーマリッジで一生ものの結婚を

株式会社イーガ イーガーマリッジ

〒560-0023 豊中市岡上の町3-2-3ナニワビル2F tel.06-6852-1186



0120-223-468

営業時間/11時~20時 定休日/毎水曜日

公式ホームページ

イーガーマリッジ

検索

http://www.kekkon-em.com





Premium Moment

すべての刻に、豊かさを。



神戸市内で3つのホームを運営。
20年超の経験を結集した新しいホームが誕生します。

(完成予想図)
建物: 自社所有
土地: 普通借地 (アーク不動産株式会社・平成29年契約)



ダイニング (完成予想図)

2020年春 オープン予定

シニアレジデンス

エレガノー西宮

- 同一建物内にクリニック(別法人)を開設予定
- 「専門講師」による文化系・スポーツ系のシニアカレッジプログラム
- 「IT技術」を活用した健康支援・情報発信システム
- 将来の介護に備え、介護居室を併設

西宮北口に
シニアレジデンスギャラリー
OPEN! 駅から徒歩
約7分



エレガノー西宮 建設地
阪急西宮北口駅、JR西宮駅と2wayアクセスが可能。
神戸にも大阪にも近い便利な立地です。
西宮市津門大塚町1番17
●阪急神戸線「西宮北口」駅徒歩16分(約1,280m)
●JR神戸線「西宮」駅徒歩11分(約880m)
●阪急今津線「阪神国道」駅徒歩4分(約320m)

【エレガノー西宮】●所在地: 西宮市津門大塚町1番17 ●構造: 鉄筋コンクリート造地上14階建2棟、5階建1棟 ●総居室: 309戸(一般居室219戸、介護居室90戸)【西宮市サービス付き高齢者向け住宅運営指導指針による表示】●類型: サービス付き高齢者向け住宅 ●居住の権利形態: 利用権方式 ●利用料の支払い方式: 一部前払い一部月払い方式 ●入居時の要件: 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険: 在宅サービス利用可

資料請求・説明会等のお問い合わせは (9時~17時・毎土曜定休日) **0800-100-2438**

エレガノー西宮シニアレジデンスギャラリー 〒663-8032 西宮市高木西町4番22号

